

講師からのメッセージ

経営者の皆さんは、次のような悩みをお持ちではないでしょうか。

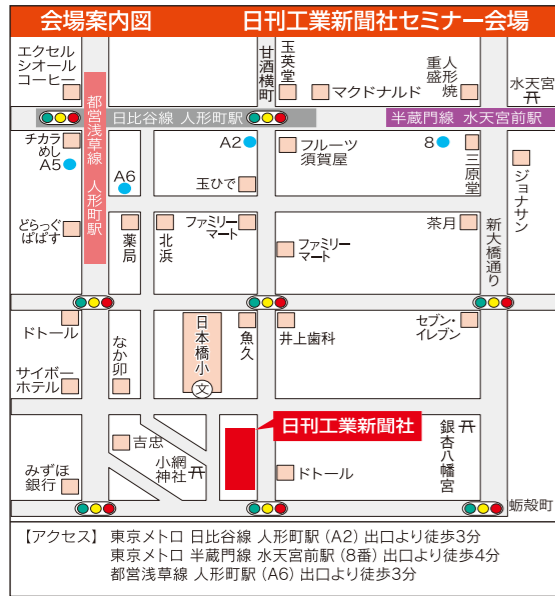
- ①これまでのやり方では、これからも成功すると思えない。
- ②これから会社を支える何か新しいことをはじめなければならない。
- ③それには、有能な人材が必要になる。
- ④そのためには、儲かる会社にならなければならない。

以上のことを一人で考えることが増えているのではないのでしょうか。「儲かるようになる、しかも、社員が元気になる」つまり、経営塾に参加した企業が、利益を上げ、そして社員

の生産性をあげることを目標にします。まずは、最初の仕掛けとしては、経営者の経営力＝「儲ける力と社員を育てる力」を鍛えることから始めます。

- ①会社の「業績」を伸ばし方
- ②会社が「成果」を出し続ける仕組み
- ③社員が育つマネジメント手法

社員が、自律的に仕事に取り組むようになり、結果として業績を上げ続けられる会社＝儲かる会社になる、自社にあった仕組みをつくることを目指します。



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

アクセス

- 東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分
- 都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
- 東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

申込方法

申込書を郵送またはFAXにてお申し込み下さい。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担下さい。

口座名義 (株)日刊工業新聞社

- りそな銀行 東京営業部 当座 656007
- 三井住友銀行 神田支店 当座 1023771
- みずほ銀行 九段支店 当座 21049
- 三菱東京UFJ銀行 神保町支店 当座 9000445

《受講申込書》

「儲かる会社、本気の社員」の創り方を学ぶ お申し込みは FAX.03-5644-7215

■ご参加希望の受講内容をお選びいただき、□に✓をご記入下さい。

一括受講 157,500円(税込)	一括受講希望 <input type="checkbox"/>	■各回受講ご希望の方は 受講希望日の□に✓を ご記入下さい。	2/12(火) <input type="checkbox"/>	2/28(木) <input type="checkbox"/>
各回受講 42,000円(税込)	各回受講希望 <input type="checkbox"/>		3/12(火) <input type="checkbox"/>	3/26(火) <input type="checkbox"/>

会社名	業種
フリガナ	TEL:
部署・役職	FAX:
〒	
E-mail:	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。 No.130050  
 ※一度お振込みいただいた参加料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて  
 ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
 尚、宛先変更・配信停止をご希望の際は、右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

お問い合わせ 日刊工業新聞社 事務局 イベント事業部 セミナー係  
 申込先 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215 e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

～経営者塾のご提案～

「儲かる会社、本気の社員」の  
創り方を学ぶ

講師

株式会社バジェット  
山下 幸彦氏

日時

- 2月12日(火)
- 2月28日(木)
- 3月12日(火)
- 3月26日(火)

10:00～18:00(各回)

会場

日刊工業新聞社  
東京本社 セミナールーム

参加費

〈1社1名様〉  
 一括 157,500円(税込)  
 各回 42,000円(税込)  
 〈資料、昼食込〉

この企画は、20社限定でさせていただきます。



株式会社バジェット

講師紹介



株式会社バジェット  
山下 幸彦氏

【略歴】

鹿児島大学法文学部卒業後、(株)リクルートに入社。  
(株)リクルート映像、(株)日本経営システム研究所を経て、2012年11月、(株)バジェット創業に参加。  
25余年にわたり一貫して携わってきたのが、採用・人材開発、人事制度の構築、事業計画策定の支援です。業種・規模を問わず、企業の変革のためのご支援をしてきました。また、早くから感情能力を活用した組織活性プログラムを作成し、多くの企業で実践してきました。一人ひとりの持つ力を発揮させる研修は得意とするところです。

経営塾の特徴

全4回のセッション(講座)をおこないます。

- ①参加者は、経営者および経営幹部(各事業部門責任者)に限定します。
- ②赤字企業を1年で何社もV字回復させたコンサルタントからコツを学びます。
- ③ワークショップ形式=与えられたテーマと一緒に考え、討議することで実践的に学びます。
- ④実践したなかでの問題点について、コンサルタントによる個別フォローを行います。自社での具体的な取組みにより生じた課題を個別に相談することができます。
- ⑤自社で実践した結果を共有し、検証を行い、次の対策を立てるというマネジメントサイクルを体感します。
- ⑥同じ悩みや課題を持つ経営者が生きたケーススタディで学び合う事で、実践するうえでの細かい気付きが得られます。経営者同士の絆も築くことが可能になります。

学習テーマ

1. 経営者自身が「自分自身を知る」
  2. 自社の組織の現状を把握し問題を選択する。(対策でなく)方針を立てる。
  3. マネジメントサイクルの回し方を知る
    - i. 社員を本気にさせる
    - ii. リーダー(幹部)を育てる
- 以上のテーマを学習しながら、自社の経営を革新していく仕組みやマネジメントを学びます。

経営塾運用イメージ

以下のサイクルを実践します。個別相談も行います。



- ① 自分自身を知る
- ② 自社の組織の現状を把握し問題を選択する。(対策でなく)方針を立てる。
- ③ マネジメントサイクルの回し方を知る
  - i. 社員を本気にさせる
  - ii. リーダー(幹部)を育てる

プログラム

第1回  
2/12  
(火)

10:00~18:00

自分自身を知る

まずは、自分自身のことを深く知ります。孫子の教えにもあるように、「敵を知り、己をしれば、百戦危うからず」です。経営者は、他者から見えている自分を知らない事が以外にも多く、そのために、組織に与えている影響も軽視しがちです。自分の影響をポジティブなものネガティブなものしっかりと受け止めることからスタートします。

- |  |   |
|--|---|
| <p>講座</p> <p>マネジメントに感情が影響を与えていることを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に検査を受け、検査結果から自分の特徴を分析する</li> <li>・ 組織に与えている影響を考える</li> <li>・ 改善策を立てる</li> <li>※帰社後、自社の幹部と共有する</li> </ul> | <p>自社での取組み</p> <p>与えている影響を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織感情アンケート調査を実施する(アンケート調査票は支給します。)</li> <li>・ 結果をもとに要因を考える</li> <li>・ 改善案を立てる</li> <li>※社員と共有する</li> </ul> |
|--|---|

第2回  
2/28  
(木)

10:00~18:00

現状を把握し問題を選択する。(対策でなく)方針を立てる。

自社の組織が置かれている状況を俯瞰します。リッチピクチャーとBSC(バランス・スコアカード)の視点により自分たちの立ち位置を知り、問題を特定します。自社内で幹部と問題点を洗い出すための準備をします。

- |   |  |
|---|--|
| <p>講座</p> <p>リッチピクチャーで自社を取巻く環境を俯瞰する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リッチピクチャーの作成方法の解説</li> <li>・ リッチピクチャーによる問題状況の読み取り方の解説</li> <li>・ 問題を選択する</li> </ul> <p>BSCの手順により、戦略を明確にし重点課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの視点(財務の視点、顧客の視点、業務プロセスの視点、成長と学習の視点)を基準に、重要成功要因(CSF)を定義する。</li> <li>・ 目標達成度を計測するための指標を設定する。</li> <li>・ 4つの視点で、社外と社内、現在と未来、財務と人材育成など、バランスを考え方針を立てる。</li> </ul> | <p>自社での取組み</p> <p>問題点の洗い出しと重点課題の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社の幹部とリッチピクチャーで見えた問題とBSCで導いた重点課題を共有し、より広い視野で課題の検討をする。</li> </ul> |
|---|--|

第3回  
3/12  
(火)

10:00~18:00

部下を育てるマネジメントを身につける

部下を育てるマネジメントを身につける i) 組織のモチベーション、ii) リーダーの育成を切り口に、部下を育てるマネジメントについて伝授します。

—i) 社員を本気にさせる

組織には感情があります。ここのマネジメントを間違えると取り返しがつかない事になります。しかし、多くの経営者や部門長が良かれと欲していることが、却って組織を駄目になっているケースをよく目にします。自分の組織がどんな状態で、その原因がどこにあるのかを探ります。そして、良い職場の条件と比較し、改善のための目標を決めます。

- |  |  |
|--|--|
| <p>講座</p> <p>組織感情から社員のモチベーションを把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析結果から原因を特定する</li> <li>・ よい職場の条件から「あるべき姿」を特定する</li> <li>※帰社後、自社の幹部と共有する</li> </ul> | <p>自社での取組み</p> <p>モチベーションを高める対策を決める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あるべき姿」を実現するための対策を考える</li> <li>・ 対策の進め方を決める</li> <li>※自社の幹部と共有する</li> </ul> |
|--|--|

第4回  
3/26  
(火)

10:00~18:00

—ii) リーダー幹部を育てる

リーダーシップには、スタイルがあります。相手、おかれている状況などに応じて複数のリーダーシップスタイルを使い分ける必要があります。このセッションでは、自社幹部の特徴を掴み、その人個々に適応した育て方を身につけます。

- |  |   |
|--|---|
| <p>講座</p> <p>アンケート調査から幹部の特徴を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析の仕方を学ぶ</li> <li>・ 問題点を洗い出す</li> <li>・ 育て方を決める</li> <li>※帰社後、幹部社員に検査結果を伝える</li> </ul> | <p>自社での取組み</p> <p>リーダーシップスタイルを学ぶ(経営者が講義を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6つのリーダーシップスタイルを教える</li> <li>・ 目標とするリーダーシップスタイルを決定させる</li> <li>・ 実現のための課題を設定し、アクションプランを立てさせる</li> <li>※幹部社員の課題を社員と共有する</li> </ul> |
|--|---|